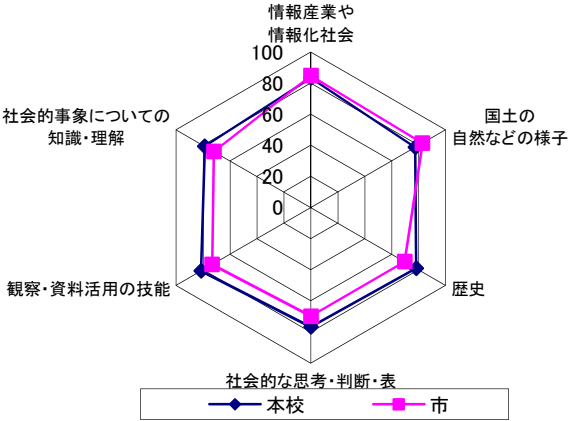


宇都宮市立西原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	83.3	84.7
	国土の自然などの様子	77.4	82.7
	歴史	78.2	69.5
観点別	社会的な思考・判断・表現	76.7	69.9
	観察・資料活用・技能	81.5	73.3
	社会的事象についての知識・理解	78.8	71.9



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	・宇都宮市の平均正答率をやや下回った。 ・情報ネットワークについて、コンビニエンスストアを例に考察する設問については、正答率が市の平均を上回ったがメディアの種類とその特色についての設問やホームページに関する設問では、市の平均を下回った。	・情報に関する学習の中で、人々が日常の生活や産業で必要な情報をどのように入手し活用しているのかを調査したり資料を活用したりして調べる活動に力を入れるようにする。 ・ホームページの作成の際に注意すべき点について考える学習を意図的に行うことで判断力を養うようにする。
国土の自然などの様子	・宇都宮市の平均正答率をやや下回った。 ・資料を読み取り、林業の現状を把握する設問についての正答率は市の平均をやや上回ったが環境を守る取り組みに関する設問についての政党率は市の平均を下回った。	・森林の働きを含め、国土の環境保全への関心を高めるために地図帳や地球儀、統計などの各種の資料、立体模型などを活用して学習を進めるようにする。
歴史	・宇都宮市の平均正答率を大きく上回った。 ・「江戸時代の文化と学問」「明治維新と世界に歩み出した日本」の問題での正答率が市の平均を大きく上回ったが「天皇中心の国づくり」の問題での誤答が見られた。	・時代によつての知識理解にばらつきがあるので、取り上げる歴史的な事象と人物のはたらきや代表的な文化遺産を関連させ我が国の伝統や文化が長い歴史を経て築かれたものであることと遠い祖先の人々の努力が今日の自分達の生活と深く関わっていることに気付くように指導する。